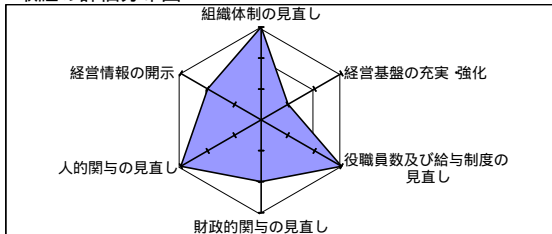


取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	十分達成している
経営基盤の充実・強化	ほとんど達成していない。
役員数及び給与制度の見直し	十分達成している
財政的関与の見直し	ある程度達成している。
人的関与の見直し	十分達成している
経営情報の開示	ある程度達成している。

1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

(1) 組織体制の見直し

評価：十分達成している】

平成17年度に、これまでの3部体制から2部体制に移行し、より効率的な組織体制とした。

(2) 経営基盤の充実・強化

評価：ほとんど達成していない。】

平成17年度計画に比べ、売上高は減少し、販管費は増加した。平成18年度は、アイテム指定管理者として売上高の増加に努め、販管費を始めとする経費の削減にも一層目を詰めて実施する。

(3) 役員数及び給与制度の見直し

評価：十分達成している】

平成17年度に、人員構成を見直し、職員数を26名から22名に削減するとともに適正な人員配置を行った。また、給与制度の見直しも行き、賞与支給基準(査定)を引下げ、財務内容の改善を図った。

2 県の関与の適正化に向けた取組

(1) 財政的関与の見直し

評価：ある程度達成している。】

愛媛国際貿易センターや植物くん蒸所など公の施設の管理運営経費等に係る委託料については、あらかじめ会社から事業計画書を提出させ内容を精査するとともに、実績の確認等も行った上で、適正な委託料を支出した。

平成18年度は、利用料金制度の導入に伴い、公の施設の利用に係る施設使用料を指定管理者の収入とすることができることとなったことから、施設運営の一層の効率化等のために引き続き適正な委託料を支出する。

(2) 人的関与の見直し

評価：十分達成している】

県職員の非常勤取締役への就任については必要最小限の人数にするとともに、県OBの専務取締役へは知識経験を有する適任者を登用しており、今後も会社の経営安定に向け、営業力強化と経費削減を軸とした収益確保並びに堅固な経営基盤の確立等のために引き続き実施する。

3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

評価：ある程度達成している。】

情報公開規程の策定のみ平成18年度にずれ込んだが、その他は計画どおり実施した。

4 総合的評価

経営基盤の充実・強化が平成17年度計画に比べ未達成に終わった。平成18年度は、アイテム指定管理者として売上高の増加に努め、販管費を始めとする経費の削減にも一層取り組む。また、県担当部署等との連携を密にし、様々な視点から経営改善に努める。